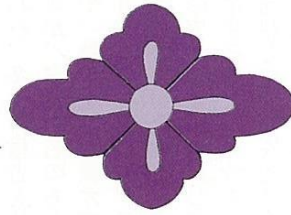




菩提樹

佛さまに育てられる年輪

第2号 平成13年12月発行



編集・発行
正法寺

山口市大字江崎
2710

TEL
083-989-2213

FAX
083-989-5339



活用が期待される門徒会館正面

完成した門徒会館



会館内正面

▶平成十三年度 初参記念(平成十三年五月二十一日)

二十一世紀スタート 混迷の時代を生きることとなる

同時多発テロに思う

今年同時多発テロを発端とする、人間の尊厳を無視するテロや報復行為、まさしく戦争が勃発しました。

毎日、報道されるニュースを聞きながら、私達はどのようにじっとしてよいのかと考えさせられます。

ついつい大きい力に流され、戦争加担者になつていゝのではと思ふことしきりです。キリスト教・イスラム教は世界宗教と言われ、多くの信者を持つ教えですが、聖戦の名のもとに、テロや、戦争をする教えであれば困ります。どうして、テロ・戦争阻止の力が全世界を支配しないのでしょうか。決してテロを肯定する者ではありませんが、身を呈してテロを起さなければならぬ人々への配慮なくしてテロは解消しません。仏典にあるように「恨みは恨みによつて鎮まるものではない。恨みを忘れてこそ恨みは鎮まるのである。」報復では問題は解決しません。

先般「キリストの汝の敵を愛せよ」という質問がありました「るか」という質問がありました。が、仏教には敵という言葉はありません。さらに、如来は罪深い人々がほつておけぬのです。如来に憎しと思ふ心はありません。すべてを同悲同感と受け入れ、許し救つてくださる教えでなければ真の救いは成立しません。すばらしい教えの中にあつて、その内容の深さを知らぬようでは残念です。しっかりと、如来のお慈悲に出遇うよう努めようではありませんか。

心の鏡を持つ 生活をしよう

一日に一度、体の汗を流し、心の汗を流すことを忘れてはならぬと言われています。スポーツやジョギングで体の汗を流す人は多くなりましたが、心の汗を流す人が何人いらつしやるでしょうか。一日一度、いくら多忙でも、お仏壇の前で手を合さぬ人は人間の営みを忘れていて、心得てください。「三日、念仏

を申さぬと心を戒める」との念仏者の戒めがあります。如来の慈光にふれる、朝夕の礼拝をし、教えを聞く場へ積極的に足を進めましょう。きらら博も二五万人の参加者で盛会裡に終了しました。嬉しいことです。これを評して「これは防長の持つ底力だ!!」と言われた方がいます。念仏生活の上からも、伝統的なかつての法義地で妙好人や、多くの念仏者や、金子みすゞさんのようなすばらしい心を育てて来た土壌があります。今の日本人に最も求められる心の花を念仏を通して咲かせていきましょう。

住職

門徒会館が できました

平成十一年五月にご門徒の皆様方に正法寺整備(四大事業)に関するご懇志をお願いしました。

経済も低調な時期、皆様方には大変なご負担をおかけしましたが、お陰様で一期事業の本堂山門瓦葺替工事を終え、二期事業の門徒会館改築工事も、この度完工の運びとなりました。

これもひとえに正法寺護寺に対しての皆様方のご厚志の賜物です。厚くお礼申し上げます。

なお、平成十五年には、三期の事業として、『蓮如上人五百回遠忌法要・正法寺真宗改宗五百年の延修法要』を実施する計画です。この法要の時に、『門徒会館の落成式』も挙行する予定です。

門徒会館の利用について

門徒会館はご門徒の皆様方の会館です。平成十五年の落成式が済んでから、会館使用料や使用上の規定な



新築の門徒会館で、日曜学校の子ども達も、報恩講のお齋を頂きました。

どを具体的に決めたいと思います。それまでは使用料を頂きません。どうかお気兼ねなくご利用いただけますように……。

ご懇志に ついてのお願い

平成十一年の五月から三年間で二十六万円のご懇志を完納していただくようお願いしていましたが、あと四ヶ月となりました。まだのお方、何卒よろしくお願

故 縄田雄次郎さんに
感謝状が贈られる

——法輪会二十周年で——

十月五日、山口南組法輪会(連続研修修了者の集い)の結成二十周年の記念行事が、信光寺を会場にして行われました。
当日、法輪会初代の会長として、田雄次郎さん(下中野)に、山口南組組長さんから感謝状が贈られました。
奥さんの咲枝さんが故人にかわって感謝状を受けられました。おみのりを広めることに情熱を



受けられた感謝状

燃やされた故人の遺徳をしのぶ
ことができた集いでした。

役員紹介

平成十三年度に新しく役員になられた方の紹介

仏教婦人会



- 会長 藤永 紀子
- 副会長 伊藤 紀子
- 中村 八重子



やよいい会(若婦人部)



- 会長 宮本 君子
- 副会長 岩脇 幸子
- 山本 真弓

仏教青年会



- 会長 小林 美佐子
- 副会長 岩佐 寛美

「アミダの森」運動に ご協力ください!!

私達は蓮如上人五百回遠忌法要で掲げられた「イノベーショ(変革)の実践として、環境問題への取り組みを始めました。「砂漠をやらなければ、人類の未来はない」と砂漠の緑化に生涯をかけ、中国で黙々と砂漠緑化に取り組んでおられる遠山正瑛先生に触発され、その実践行を支援しようとして立ち上り、『アミダの森』運動(大地に命をかえす運動)を開始しました。法要の前年一九九七年(平成九年)発足し、五年を経過しました。おかげさまで内モンゴルの大地に一八四万本の苗木を植樹することができました。苗木代として本部へ寄せられた基金が六七、二六九、四四八円になります。

- アミダの森建設も、第一クラブチ・アミダの森、第二ホルチン・アミダの森、第三シリント・アミダの森とすめられ、五年間で六二二名の方が、現地へ植林に自費で行ってくださいました。善意のご支援に感動しています。
- 正法寺でも宇部の中野美枝子さんの支援を皮切りに、仏教婦人会、有志の方々のご支援が次々と届けられました。また植樹にも、クラブに下高根末廣勇さんが参加して下さり、その後、検小野の武永さんの親族の倉本守さんが参加されました。来年も植樹、緑の協力隊が次のように予定されています。
- ホルチン第四次隊(福岡発北京経由) 第五次隊(関空発) 五月三日発・五月七日帰国
- シリント第一次隊(福岡発) 第二次隊(関空発) 七月下旬・八月月上旬
- クブチ第十九次隊(成田発) 八月中旬
- ホルチン第六次隊(福岡発) 第七次隊(関空発) 八月下旬

正法寺への 物品報酬

各二十名募集しています。ご協力下さい。

正法寺は山口教区の事務局を務め、県下のご支援を取りまとめています。主旨ご理解の上ご協力を願います。

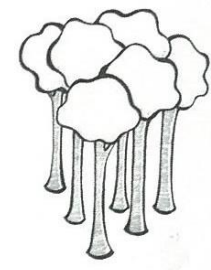
- 一、掃除機二台
- 宮の原 松村桂子殿
- 高 見 伊藤達子殿
- 一、西洋皿百枚
- 岡 屋 田中栄子殿
- 一、台所用品
- 嶋 岡 藤井レイ子殿

お礼と ご報告

今年三月三日午後四時過ぎ、正法寺台所から火災が発生しました。皆様の消火活動のおかげで大過をまぬがれました。ご協力に心からお礼申し上げます。

さっそくご門徒中の皆様からお見舞を賜り、総額一四八万六千円に達しました。尊いお志を基金とし、火災保険をあわせ、九月中に修復を完了することができました。

ご報告を申し上げます。お礼を申し上げます。



法座特集その1

たん 誕 会

ごう 降

5月21日

しんらん様のお誕生日

中央の絵は、宗祖親鸞聖人の童形の像です。実はまことの保育の場で、こども達が毎日、親しく「しんらんさま」と合掌している童形の像です。しんらんさまが、幼名松若丸さまと申していた頃を孝証して、宗祖の七〇〇回の遠忌法要の時、製作されたものです。念仏の声を世界に子や孫に!!のスローガンの実践と全家庭でご協力ください。



承安三年、日野の里にお生まれになった宗祖親鸞聖人のお誕生を祝う会です。みんなですとめる法要に続き、講師のお祝いのご法話を聴聞したあと、かわいい子どもさんが初めてお寺にお参りする初参式、当番地区のご門徒の方々が心をこめて用意されたおもちまき、みんなで参加する祝宴は、それぞれの十八番の余興も披露され、盛り上がったひとときが続きます。宗祖のご誕生を祝い、おたがい、浄土真宗にめぐりあえたよろこびをわかち合う集いです。



白井さんのハーモニカによる名演奏(玄珍)



しんらんさまの誕生日のお祝いの餅まきに、保育園の子ども達が大喜びで参加



うなる熱唱、広田さん(今井)



あてやかな縄田さんの舞にみんなうっとり(下中野)



あなたが参加した活動

仏教壮年会 (同心会)

- 例会(夜の法座)に一生懸命参加しています。
- 寺報(正法寺新報)をお世話人に楽しく届けています。



仏教婦人会

仏教婦人会活動は、縁の下の大きな支えです。ご馳走づくり・お接待に大忙し。

やよい会(若婦人部) 日曜学校

「日校キャンプ」お寺でソーマン流しをしました。流れが速かったり遅かったりで楽しかったです。



嘉川保育園

老人ホームを訪問したよ！おじいさん、おばあさんとたのしくあそんだよ。



仏教青年会

山陽病院で、おむつたたみをさせてもらいました。来年も、ぜひ行きたいです。



大内光輪保育園

子ども達は仏さまの大きな舟に乗って、笑顔いっぱい、元気いっぱい。



芬陀利華(ふんだりけ)

「仏教賛歌のつどい」岩国シンフォニアホール。歌声とカラフルな衣装が好評でした。



平成十三年活動内容

修正会

一月二日午前一時より、新春を寿ぎ、仏恩の中に生かされていることを喜ぶ集いでした。総勢百五十名参加

御紐解法座

一月四日九時半より、ご文章の紐を解き、正法寺の伝道開始のご縁でした。

報恩講

一月十四、十五、十六日浄土真宗門徒にとって最も大切な親鸞様のご法事で、門徒中、全員お参りし、宗祖のご遺徳を偲びました。

講師 森田義見師

法座当番 前寺内西班

十四日、やよい会(若婦人部)

嘉川保育園保護者の会の講座を午前中実施、午後から三日間報恩講修行

十五日、門徒中で正信偈を拝読し、午前、午後、夕べの大連夜修行。今年は大雪で参詣者の足を奪われ、大変な報恩講でした。参詣者全員にお斎。大内光輪保育園の年長組全員バスで参詣し、お斎につく。初めてのこ

縁でした。日中のお参りが困難という事で、昨年一年間の門徒中の新婚さんをお大連夜に招待し、紹介しました。



下高根 岩城 徹 愛 香夫妻
溝 畑 藤岡正義 薫 葉
唐 樋 富永哲夫 美由紀
榎小野 徳重厚典 淑子
前寺内 末岡敏明 由美子
日校生も夕方お参りしお斎につく。大連夜はご伝鈔が拝読され、参詣者全員におじやの接待がありました。

十六日、ご正忌報恩講御満座
午前中の法座後、年十回以上の参詣者を表彰する。十五回以上開法者芳名
下高根 棟久 歌子 三十二回
下高根 田中 安子 三十二回
上高根 山本ミドリ 三十一回
上高根 伊藤 武夫 二十七回
下高根 白川 勝二 二十六回

今津 西村 基行 二十五回
岡屋 伊藤 幸雄 十七回
岡屋 澄川 照 十七回
厚東 渡辺 礼二 十六回
また三日間の法要に次の方々の体験発表がありました。

日校代表 田村 俊介
嵯峨 崇文
若婦代表 嵯峨 久美子
保育園代表 上村 晃子
石津 沙矢香

仏婦代表 伊藤 達子
仏壮代表 原田 幸政
総代表 白井 晃

上田総代会長の司会の発表でした。今年の御正忌報恩講は雪でパニックになりましたが『祖師は紙子の九十年』を偲ぶにふさわしい報恩講でした。

御命日定例法座

二月十六日

講師 桑羽隆慈師

三期彼岸会法要

三月十四・十五日

講師 岡村謙英師
法座当番 小郡、東今津

仏教婦人会総会

四月十三日

講師 外松太恵子先生
役員交替があり新年度体制に引き継がれました。
体験発表 山本トシ子

正法寺世話人会

四月二十八日

永代経法要

五月十九・二十日

講師 酒生文彦師
法座当番 中野上・下

年に一度の門徒中の総法事です。ご先祖の願いである聴聞に徹するご法事でした。

宗祖降誕会法要

五月二十一日

法座当番 榎小野

浄土真宗門徒の法要で唯一お祝いの法座です。みんなでお祝いました。親鸞聖人のお誕生日に一年間にお生れの方の初参式があり、午後はお餅撒、祝賀会が盛大に催されました。

初参式 受式者名

宮の原 松村 豪大

大原 鉄井 綾香

上高根 伊藤 颯希

下高根 上田 侑采

溝畑 藤岡 香穂

溝畑 松永 里音

上高根 山本 康平

岡屋 中村 梨那

岡屋 伊藤 真由

上高根 野寄 遥斗

対象者

上高根 伊藤 晟吾

上高根 白川 快輝

嘉川保育園子ども盆踊り大会

七月八日

地域の皆さん、保護者、お年寄りの皆さん、学童、集まっての夏のイベント。小動物の追弔会、バザー、夜店、手品と三百名近くの方々と一緒に盆踊りに興じました。最後は花火と、楽しい夕べでした。

夏期法座(安居会)

七月十三・十四日

講師 野村康治師・伝道院実習生
法座当番 深溝 唐樋 寄江 新地 渚

夏期の真宗研修講座で、別名つくり上り法座ともいいます。

山口きらら博開催

七月十四〜九月三十日まで



七月二十五日
嘉川保育園・大内光輪保育園よさこいソーランできらら博に出演しました。

御盆会法要(歓喜会)

八月四日

講師 尾寺俊水師
法座当番 今井 玄珍

お盆を前に、念仏を喜ぶご縁を持ち、仏教的に意義あるお盆にしました。

山口南組児童念仏奉仕団

八月七、八日

正法寺参加者
岡 屋 西村隆宏君

八月十五日

五十年続いた正法寺の盆踊り、本年はさらに博中でもあり、中止としました。

第十九回公開講演会開催

九月二日夕七時より



講師 大谷大学々長 小川一乗師

二十一世紀を迎えて『今人間を考へる』と題して講演、わかりやすく、多くの人々に感動を与えました。

仏教婦人会追弔会・大会

九月六日

講師 河野宗教師

追弔会と秋期大会が催され、仏教婦人としての自覚ある行動が喚起されました。

秋期彼岸会法要

九月十五日

講師 溪 宏道師
法座当番 高根空川

往生浄土の道が示されました。

正法寺敬老会

九月二十三日

全教化団体で七十七才以上の方をお招きする敬老会です。勤行、法話、祝賀会と楽しい集いでした。対象者一八九名の内、六十名出席、欠席者には仏教婦人会よりケーキ・施本が配布されました。

正法寺念仏奉仕団実施

十月二十六、二十八日

納骨―智積院―本願寺清掃奉仕―平等院―葉師寺―辰己屋―本善寺―顕証寺―宝塚公演という二泊三日のコースで温かい楽しい念仏奉仕の旅で

した。特に本山では御影堂修復中で寛永瓦を洗い、思い出に残る作業でした。閉会式で表彰式があり、次の方が受賞されました。

十五回参加

玄 珍 白井都師子
下中野 縄田 咲枝
十回参加

厚 東 渡辺 礼二
深 溝 藤永 紀子



大内光輪保育園運動会

九月二十九日

嘉川保育園運動会

十月七日

奉仕活動

運動会後、子ども達は和太鼓、鼓隊の演奏、鳴子を持つての大内の殿様サンバの踊りで白松苑・秋楽園・秋穂あかり園・梅光苑・幸楽苑をめぐり、老人とのふれあい交流の場が持たれました。園児もよき体験となりました。

さらに仏教婦人会では毎月、役員さんの山陽病院へのおしめたたみ奉仕が実践され活動ある開法者の行動が進められました。

今年には仏教青年会も、二度にわたり、貴重な休みを利用しての奉仕におしめたたみ実践をしました。

真宗保育研修会引受

十月二十四日

大内光輪保育園では、県下の『まことの保育』実施園(幼稚園を含む八ヶ園)の研修会を引受け、日頃の真宗保育を見て頂き、雪山玲子先生を講師に研修が深められました。好評で有意義な集いでした。

第三回仏教讃歌の集い

十一月十一日

今年には岩国が引受けて、シンフォニア岩国を会場として開催されました。県下の十六団体が参加し、讃仏の歌声が会場を包みました。当正法寺の合唱団「コール芬陀利華」は四十六名の参加で、

あざやかな衣装は、会場からどよめきが湧きました。曲目は「星とたんぼぼ」「あの空見れば」「正信讚」で、大好評でした。

御命日定例法座

十一月十六日

講師 齊藤君子師
九十三才の講師の気迫とご法義への情熱に教えられるものがありました。

御命日定例法座

十二月十六日

講師 岡本達美師
年末法座も合せて実施。一年を顧みて、人間の真の豊かさとは何かを考える法座でした。夕べは正法寺のお内仏と寺内の皆様の総お取越が修行された。

正法寺年末清掃奉仕

十二月十四日

仏教婦人会のおみがき奉仕
十二月二十六、二十九日
日校、仏壯、仏青の清掃奉仕

除夜会

十二月三十一日夜十一時

勤行後、除夜の鐘を撞いて行く年を送る。新年に仏法広まると念じ、さらに、来年の活動の飛躍を期待します。お支え下さった皆様に感謝します。

おこぼれを述べられるご門主



第19回 正法寺念仏奉仕団 (平成13年10月27日)



敬老会 (平成13年9月23日)

感謝状
山口教正山口前題
正法寺念仏奉仕団殿
みなさまは日頃から浄土真宗のみ教えを仰がれ愛山護法の念篤くこのたび念仏奉仕団として本山の清掃奉仕につとめられましたここに記念品を贈り感謝の意を表します
平成十三年十月二十七日
浄土真宗本願寺派 総長 武野 以徳

第19回念仏奉仕団への感謝状



卒園した園児のみなさんが、今や立派な大人になられ、ほとけさまの前でパチリ!(昭和63年3月卒園)

✿ 編集委員

松村哲男
久保実
藤永紀子
末廣洋子
蔵岡美恵子
高井邦子
白金光けい子
伊藤美星
白井康子

✿ ✿

📄 編集後記

正法寺で行われた一年間の活動を報告します。
子や孫に、正しいおみのりを伝えるために、わたくしたち門徒一人一人が積極的に参加しましょう。
菩提樹は、年に一度発行されます。ご意見、ご感想等は正法寺・編集委員までどうぞ。お待ちしております。